

## 海外における日本研究

諸外国における日本理解を深めるうえで、日本研究の促進は極めて重要である。各国における日本研究の成果は、大学や研究所の中にとどまらず、教育や図書の出版を通して一般の人々の日本に関する知識を広げ、深めていく知的基盤となるからである。

各国の日本研究の内容は、国ごとの日本に対する関心の領域によってさまざまであるが、基金では、広範な分野で日本に関する多様な研究や教育が行なわれることが望ましいと考え、人文科学、社会科学の各分野間のバランス、各地域・国の教育制度などにも留意しつつ、事業を推進している。近年は、各国の高等教育をめぐる環境の変化などにより、日本研究機関の存続と知日派の継続的育成とが危機に瀕している例もある。

### 1. 海外の日本研究機関への活動支援・人材育成

#### (1) 日本研究客員教授派遣

海外諸大学における既存の日本研究講座の発展や新規の日本研究講座の立ち上げを支援するため、さまざまな専門分野の学者・研究者を派遣するものである。

2003年度は、アルゼンチンのラ・プラタ大学(講義内容「日本・沖縄移民と異文化理解」)等に日本から客員教授を派遣し、ロシアのモスクワ大学付属アジア・アフリカ諸国大学(講義内容「中世日本史学」)等に対して客員教授招へい経費を助成した。

#### (2) 日本研究リサーチ・会議等助成

海外の高等教育・研究機関が実施する日本に関する共同研究、会議、セミナー、ワークショップや集中講座の充実を図ることを目的としており、これらのプロジェクト経費の一部を助成するものである。

2003年度は、中国の浙江大学による「明治儒学」に関する共同研究、英国のシェフィールド大学による「日本・アジアにおけるグローバリゼーション - 政治・経済問題への日本の対応」などに対して助成を行なった。

#### (3) 日本研究スタッフ拡充助成

海外の大学における日本研究関連ポストの拡大を目的として、海外の大学などが、新たに日本関係の講義を担当する常勤の教員ポストを増設する場合、最初の3年間に限り当該ポストの新規採用者の給与と社会保険掛金を助成するものである。

2003年度は、中国の香港中文大学における日本文化・社会学助教授ポストの新設などに対し助成を行なった。

#### (4) 日本研究拠点機関助成

海外において中核的な役割を担う日本研究機関を育成するために、拠点機関を指定して、中長期にわたって総合的にその日本研究部門を経費支援するものである。

2003年度は、韓国のソウル大学国際大学院、インドネシア大学大学院日本研究プログラム、南開大学日本研究院などに対する助成を継続した。

#### (5) 日本研究組織強化支援

欧州地域の日本研究者や日本研究機関による、国境や専門分野を超えた横断的な協力・連携ネットワーク形成活動を支援するため、ネットワーク組織の運営経費や活動経費を助成するものである。

2003年度は、ヨーロッパ日本研究協会(EAJS)などに対して支援を行なった。

#### (6) 日本研究奨励スカラシップ

アジアなどの大学で日本研究を専攻する学生のうち特に優秀な者に対して、学業を支援する目的で奨学金を供与するものである。

2003年度は、スラバヤ大学などの学生に対して奨学金を供与した。

### 2. 海外における日本研究調査

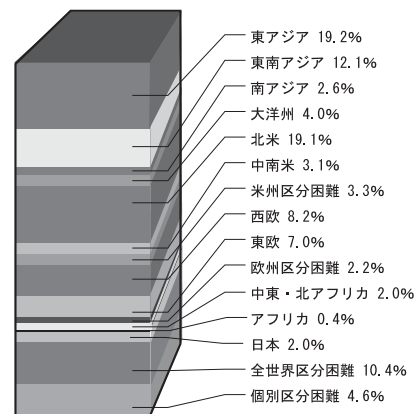
基金は設立以来、諸外国における日本研究についての調査を定期的に行ない、日本研究者・研究機関に関するディレクトリを作成している。

2003年度は、中南米地域、北米地域、大洋州地域で日本研究調査を準備・実施した。

### 3. 日本研究専門図書館運営

国際交流基金図書館は、海外で出版される人文・社会分野の欧文による日本関係文献を重点的に収集して、日本を訪れる諸外国の日本研究者などに広く提供している。

地域別比率



第10回ヨーロッパ日本研究協会 (EAJS) 総会  
(2003年8月/ワルシャワ)